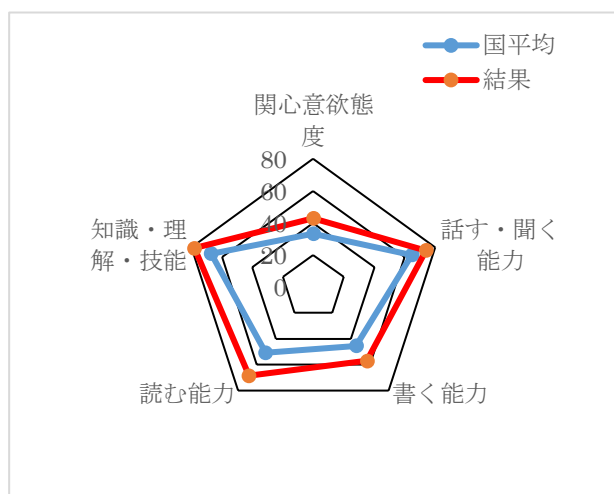


# 第6学年 国語科

児童の実態（7月現在）



## <実態の分析>

### 観点別結果の分析

（話す・聞く）おおよその内容は掴めるが、細部の聞き取りが不十分な傾向がある。

（書く）主語述語の違いや、順序を表す言葉など、基本の理解が不十分な児童がいる。

（言語）漢字の読み書き、言葉のきまりについてよく理解している。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<b>[課題設定]</b> 初発の感想や疑問点などを基にして、児童が自分たちで課題づくりをしていくよう心掛けているが、まだ教師主導となってしまうことが多い。	<b>[課題設定]</b> 今後も初発の感想や疑問点などを基にして、児童が自分たちで課題づくりをしていくことを続ける。	<b>[補充的な学習指導]</b> ・週末に日記の課題を設定し、自分の生活について伝えたいことを正しい文章にして書く力を養う。 ・個別で指導する時間を確保する。
<b>[学習形態]</b> 課題に応じてはグループでの交流を経て全体での交流にしていた。ノートなどに良い考えが書いてあってもなかなか全体の場で発言しないことがある。	<b>[学習形態の工夫]</b> 自分の考えに自信をもち、表現できる雰囲気になるように声かけをしていく。	（この行は前の行と重複するため省略）
<b>[発問・指示・板書計画]</b> 今何をすればよいのかを明確にする。多様な考えを引き出せるような発問を工夫する。	<b>[発問・指示・板書の工夫]</b> 児童が写す板書の量が適量になるようにし、自分の考えを深める時間を確保する。	<b>[発展的な学習指導]</b> ・調べてまとめる学習の時に、必要な部分を書き出すという点で、文章が長くなりすぎないように声をかけて指導する。
<b>[教材の活用]</b> デジタル教材を十分に活用できていない。	<b>[教材の工夫]</b> 動画などを積極的に活用していく。	（この行は前の行と重複するため省略）
<b>[評価の方法]</b> ノート、各種テスト、発言等	<b>[評価の工夫]</b> ノート、各種テスト、発言等、多面的に評価していくことを継続していく。	（この行は前の行と重複するため省略）

## <評価・修正>

### [評価]

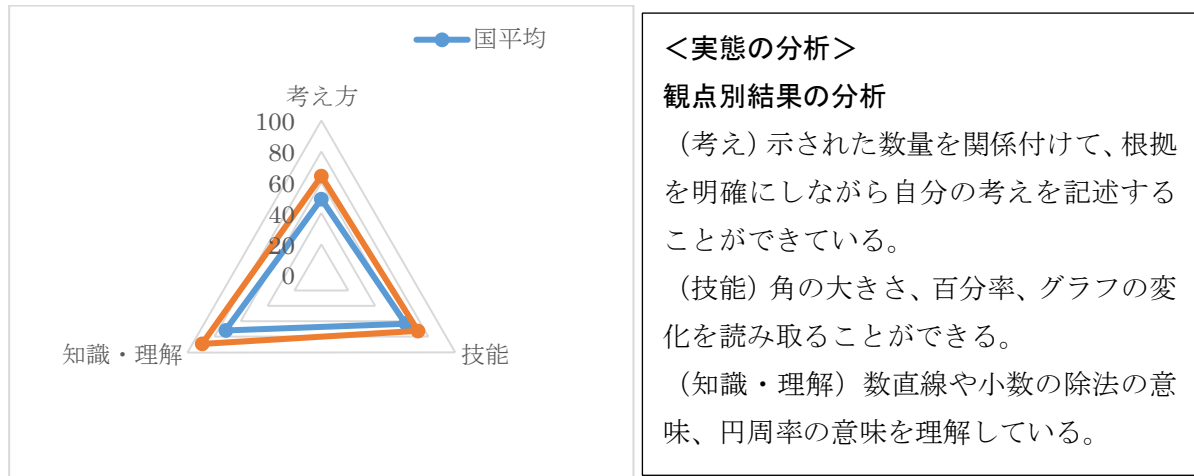
ノートに書いて自分の考えを表現できる児童は増えてきた。

### [修正]

手を挙げてその場で全体に対して自分の考えを表現できる児童が、限定されている。全体に考えを伝える意味についても指導していく必要がある。

# 第6学年 算数科

## 児童の実態（7月現在）



### <実態の分析>

#### 観点別結果の分析

（考え）示された数量を関係付けて、根拠を明確にしながら自分の考えを記述することができている。

（技能）角の大きさ、百分率、グラフの変化を読み取ることができる。

（知識・理解）数直線や小数の除法の意味、円周率の意味を理解している。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<b>[課題設定]</b> 実態に合った学習課題を提示できていない。	<b>[指導]</b> 習熟度に合った学習課題を設定できるようにする。	<b>[補充的な学習指導]</b> 個別で指導する時間を確保する。
<b>[学習形態]</b> 自分の考えを伝え合う学習が十分にできていない。	<b>[学習形態の工夫]</b> 自分の考えを伝え合えるよう、ペアやグループを編成する。	
<b>[発問・指示・板書計画]</b> 児童の理解が深まるような板書になっていない。	<b>[発問・指示・板書の工夫]</b> 課題からまとめまでの流れが一目で分かるように、児童の考えや教師の書き込みをさらに整理していく。	<b>[発展的な学習指導]</b> 発展的な学習のプリントを用意する。 答えを導くまでの多様なプロセスを考えさせるようにする。
<b>[教材の活用]</b> 図形領域において、デジタル教材を十分に活用できていない。	<b>[教材の工夫]</b> 円や角柱の学習の際にデジタル教材を用いて、学習内容の定着を図れるようにする。	
<b>[評価の方法]</b> ノート、テスト、ワークシート、発言等	<b>[評価の工夫]</b> ノート、テスト、ワークシート、発言等の多面的な評価を継続していく。	

### <評価・修正>

#### [評価]

課題の設定を工夫したこと、板書を整理したことが、児童の学習理解につながった。

#### [修正]

デジタル教材の活用があまりできなかったため、今後活用の機会を増やしていく。

## 第6学年 社会科

### 児童の実態（7月現在）

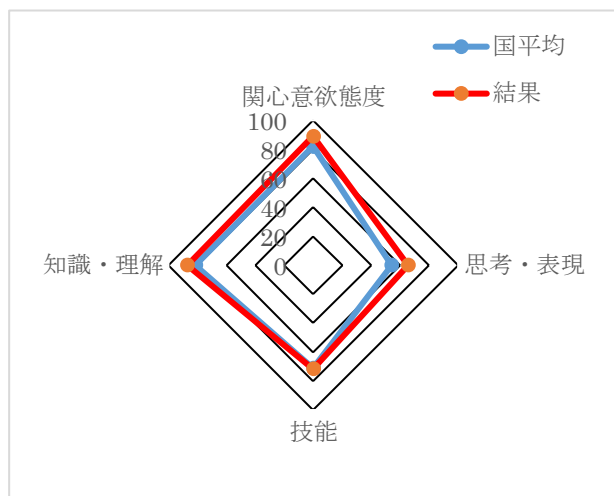
<p>&lt;実態の分析&gt;</p> <p><b>観点別結果の分析</b></p> <p>（思考・判断）社会的事象の原因や効果などを予測したり考えたりする力が身に付いてきている。</p> <p>（技能）教科書や資料集の情報をよく読み取っている。しかし、一つの表にたくさんの情報量が組み込まれている資料や、文字が小さかったり色が多かったりする資料では、読み間違いをしてしまうことが多かった。</p> <p>（知識・理解）用語を理解することはよくできているが、表現するとなると間違いが生じてしまう場面が多くあった。</p>
---

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定]</p> <p>どこからどこまでを一単位時間で学習するのかの設定が難しい。</p>	<p>[課題設定]</p> <p>導入からまとめまで、一連の流れを意識して設定するようにしていきたい。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>読み取らせる資料を更に限定し、何を探せば良いのかもより明確にしていく。また、調べたことを発表する場面も逃さないようにしていく。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>全体一教師の指導形態に偏ってしまっていた。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>児童間で意見を広める時間を設定するようにしていく。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>全体に示す資料だけでなく、もっと詳しく調べることのできる資料を用意しておく。また、調べるだけでなく「〇〇と似ている」や「だからこうなっているのか」等、児童の言葉で理解できるような声かけをしていく。</p>
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>資料を見て考察する力を養いたい。板書で児童の意見を表示してきたが、ノートを書くことに時間を費やしている。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>板書の量を必要最低限に減らし、今の生活との結びつきなど児童が自分の考えを深める時間を作れるようにしていく。</p>	
<p>[教材の活用]</p> <p>教科書や資料集の中から、学ばせたいことを選抜して児童に提示していく必要があると感じた。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>デジタル教科書や、ビデオ教材を使うタイミングも考えていきたい。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>ノート、ワークシート、テスト、発言等</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>今後も同様にノート、ワークシート、テスト、発言等の多面的な評価を進めていく。</p>	

<p>&lt;評価・修正&gt;</p> <p>[評価]</p> <p>その日に何を学ばせるのかを明確にして授業をプランニングすることができた。</p> <p>[修正]</p> <p>上記の成果がある一方で、児童の主体性については課題があると感じている。知りたい！という好奇心を中心に授業が展開できるようにしていく必要がある。</p>
---

## 第6学年 理科

### 児童の実態（7月現在）



#### <実態の分析>

##### 観点別結果の分析

（思考・判断）複数の情報を関係付けながら、分析して考察することができている。

（技能）実験器具を適切に操作することができている。

（知識・理解）科学的な言葉や概念を理解している。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<b>[課題設定]</b> 教師から提示することが多い。	<b>[指導]</b> 児童の生活や経験、疑問をもとに、課題を設定できるようにする。	<b>[補充的な学習指導]</b> 宿題等で復習プリントに取り組みせ、学習内容の確実な定着を図る。
<b>[学習形態]</b> 考察の際に、一部の児童のみの発言で学習が進んでしまうことがある。	<b>[学習形態の工夫]</b> 隣の人やグループで考察したことを伝える時間を設定する。	
<b>[発問・指示・板書計画]</b> 実験の指示が分かりにくかったり、安全に取り組めなかったりする時がある。	<b>[発問・指示・板書の工夫]</b> 可視化して説明したり、安全に実験を行うことの必要性を話したりする。	<b>[発展的な学習指導]</b> 教科書の発展「とびだせ！科学」を扱うようにする。
<b>[教材の活用]</b> 児童の思考や理解を深めるデジタル教材を有効に活用できていない。	<b>[教材の工夫]</b> 一単位時間の中で、デジタル教材を十分に扱えるだけの時間を捻出する。	
<b>[評価の方法]</b> ノート、各種テスト、ワークシート発言等	<b>[評価の工夫]</b> ノート、各種テスト、ワークシート発言等の多面的な評価を継続していく。	

#### <評価・修正>

##### [評価]

学習形態を工夫（ペア・少人数）したことで、一部の児童の発言のみで授業が進むことがなくなり、多くの児童が自分の予想や考察を述べることができた。

##### [修正]

発展的な学習を十分に扱うことができなかつたので、多様な発展的な学習を取り入れていく。

## 第6学年 体育科

### 児童の実態（7月現在）

<p>＜実態の分析＞</p> <p>観点別結果の分析</p> <p>○（意欲・関心）全体的に関心は高く、安全面にもよく気を配っている。</p> <p>○（思考・判断）個人差が大きく、技能差に影響してきている。</p> <p>○（技能）基本的な技能についてはよく身に付いている。</p>
--

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
<p>[課題設定]</p> <p>対話的という点において、児童にはもっと意識させて指導すべきであった。</p>	<p>[指導]</p> <p>友達と関わり、学び合う場面を多く設定できるように工夫して授業を計画していく。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>個別で指導する時間を増やしたり、タブレット等を活用して視覚的な理解を促したりして、指導していく。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>いつも同じではなく、活動毎に形態を変えたが、児童はその意図をよく理解して学習していた。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>今後も活動毎に変える学習形態を継続していく。</p>	
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>発問を段階的にできるように心がけたが、一人一人実態が異なるため難しい。実態の把握を課題としていきたい。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>指示はなるべく短くし、児童の活動の時間を増やし、実態の把握や指導につとめたい。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>自分の課題に合った技を選択して行うことができるように、計画的に単元を構成していく。</p>
<p>[教材の活用]</p> <p>学習資料の活用について、児童がどのように活用したら良いのかまで指導しきれなかった。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>必要な資料を限定して児童に示すようにする。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>観察・体育ノート</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>今後も観察・体育ノートでの評価を継続していく。</p>	

<p>＜評価・修正＞</p> <p>[評価]</p> <p>タブレットに関しては効果的に活用できた場面が多かった。児童に実際の自身の動きを見せながら良い動きを価値付けたことで、全体へ広げる上で大変効果的であった。</p> <p>体育ノートを授業に大きく活用できた。児童の考えから授業作りをする上で効果的であったと感じている。</p> <p>[修正]</p> <p>子供たちに楽しさを強要してしまった単元があった。何に楽しいと感じるかは児童によって異なるものということを踏まえて、児童主体の授業作りを目指していく必要がある。</p>
---